

第 26 回放送番組審議会議事録

日 時 令和 7 年 3 月 12 日（水）午前 10 時から午前 11 時 50 分

場 所 鳥取市役所 2F 多目的室 3

出席委員 田渕 雅昭（会長）
（敬称略） 窪田 清恵 竹内 利枝子 鳥飼 友太
中村 徹 藤原 俊文

放送局出席者 秋山 光行（代表取締役社長）
川本 弘則（常務取締役） 橋尾 千秋（制作部次長）

【報告事項】 （2024 年度の自主制作番組について）

2024 年 10 月に鳥取県で開催された「ねんりんピックはばたけ鳥取 2024」を機会あるごとに取り上げ機運を盛り上げたほか、特集では市内の文化・観光施設をキャスターが紹介したり、移住者の活動を紹介する番組を制作した。また、県内 4 つのケーブルテレビ局との共同制作番組を数多く制作し放送した。日本 CATV 連盟中国支部の番組コンクールにおいて 2 部門で受賞。中国管内の CATV 局での放送もあり、制作スタッフの大きな励みとなった。

【審議内容】 ①自主放送番組について

②番組視聴・合評

「天職の青梨～鳥取・二十世紀梨 120 年の道のり～」

鳥取を代表する特産品二十世紀梨が導入されて 120 年。

120 年の歴史や先人の苦労を振り返るとともに、生産者の思いを紹介した番組。

●自主制作番組へのご意見、ご要望

委員 家庭菜園をしているので農業番組は参考になる。

鳥飼委員さんのような若い人が新規就農者として紹介されるのを見ると頼もしく、また他の人の刺激になると思う。

また、市議会中継は家に居ながら見られるのでよく見ている。

委員 コミュニティ番組をよく見る。自分の地域の高齢者は元気な人が多い。公民館などのサークル活動などに参加しているお年寄りを紹介してはどうか。お年寄りの輪で番組視聴もアップするのでは。

委員 移住者を紹介する番組では(河原町)西郷地区で活動する女性が紹介され、身近な人の活動が取り上げられていてうれしかった。また「ほのまるトラベラー」は見ていて楽しく、行ってみたいくなる。自分が番組に映った時など、テレビを見た、とよく声を掛けられるのでぴよんぴよんネットの番組はよく見られていると思う。

委員 番組で他の地域での活動の様子が見られて、自身の活動の参考になっている。また毎年行われている行事は取材する側もマンネリ化しがちだが、継続して取材してありよいと思う。アグリタイムの料理コーナーは男性が調理しているので、自分にも出来そうな気がするし、参考になる。伝統料理や郷土料理なども取り上げてもらえたらよい。佐治地域は飲食店が少ないので、飲食店情報があればうれしい。

●視聴番組に対してのご意見、ご感想など

委員 ナレーションの雰囲気番組によく合っていた。また、制作者と梨農家さんのコミュニケーションがよく取れていて、農家さんの苦労話をよく聞きだしていたと思った。

委員 自分も梨農家だったので、豪雪の時に苦労を思い出した。梨の歴史と生産者を上手に組み合わせ、丁寧に作られている印象。

委員 好きな仕事をしている人の話はおもしろく、「人に歴史あり」を感じさせる番組だった。自分も農家なので、災害の苦労はよくわかる。農業をやっていると何かしらの災害にあう。災害が起きた事実は報道されるが、その後の状況はなかなか伝えられないので、出来ればその後を取材してもらい、多くの人に知ってもらいたい。